

2 0 1 9 年

令和元年（平成 31 年）度事業報告

公益社団法人 東京都歯科医師会

2019年 令和元年（平成31年）度事業計画の基本方針

歯科医師法第一条には、「歯科医師は、歯科医療及び保健指導を掌ることによって、公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もつて国民の健康な生活を確保するものとする」とあり、歯科医師が担うべき崇高な使命が掲げられている。

本会は、この使命を全うするため、歯科医学・歯科医療に携わる東京都の歯科医師を代表とする公益社団法人として、医道の高揚、歯科医学・医術の進歩発達、公衆衛生および予防医学の普及向上に努め、東京都民の保健・医療・福祉の向上に寄与する事業を実施してきた。

本年度も次の5つの事業を中心として地域社会の健全な発展を図るものとする。

1. 口腔保健啓発を通して公衆衛生の向上を実現する事業
2. 事故・災害若しくは犯罪による被害者及び障がい者を支援する事業
3. 歯科医療従事者を育成する事業
4. 都内歯科医師の事業基盤を安定化させる事業
5. その他の事業

事業報告

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

1. 口腔保健を通して公衆衛生の向上を実現する事業

この事業は、都民が口腔保健に関する知識習得により健康な身体を維持し、必要なときに安心な歯科医療サービスを楽しむことができることを目的とする。

(1) 都民に対する公衆衛生活動・普及啓発、情報提供

① 公衆衛生の主な事業活動

1) 都民向けの講演・イベント事業

⇒明細書 P124

- ・東京デンタルフェスティバル 2019in 八王子：令和元年11月17日（日）開催
(講演会参加数 770 名)

2) 歯と口の健康週間事業等

⇒明細書 P78

- ・「上野動物園行事」令和元年6月9日（日）実施

かむ能力の測定・歯科相談	(参加数 約 500 名)
唾液検査（お口の健康状態を知ろう！）	(参加数 76 名)
歯医者さんになって写真撮影	(参加数 約 200 組)
動物スタンプラリー	(参加数 2,768 名)
歯の健康・ケア相談コーナー	(参加数 771 名)
入れ歯の作り方コーナー	(参加数 約 324 名)

3) へき地（島しょ地域）歯科保健普及啓発事業

⇒明細書 P86

- ・神津島村歯科保健普及啓発事業「第18回神津島村健康・福祉まつり」

令和元年11月9日（土）

- ・お口の中の健康クイズ (参加者：103 名)
- ・唾液検査システム（SMT） (参加者：34 名)
- ・まつり参加者総数 (184 名 ※関係者除く、全島民人口 1,915 名)

4) 食育関連事業

⇒明細書 P81

- ・多職種向け食育支援講習会：令和元年8月8日（木）

「希望のごはん『おいしい』がずっと続く未来へ」他 参加者 138 名

5) 地域包括ケアシステム体制の整備

⇒明細書 P89

- ・在宅歯科医療推進支援事業研修会

①令和元年5月23日（木）

講演「介護医療連携に役立つわかりやすい歯科知識」参加者数 57 名

②令和元年8月20日（火）「 ” 」 参加者数 25 名

③令和元年10月15日（火）「 ” 」 参加者数 49 名

④令和2年1月23日（木）「 ” 」 参加者数 28 名

6) 歯科口腔保健推進事業

- ・青年期（新入社員、大学新入生）向けリーフレット等の作成

7) 企業歯科健診の充実と新たな職域歯科健診事業の研究および実施

新たな職域歯科健診事業の研究実施：多項目・短時間唾液検査システム（SMT）の使用事業

- ・「上野動物園行事」令和元年6月9日（日）受診者76名
- ・神津島村歯科保健普及啓発事業 令和元年11月9日（土）健康・福祉まつり
受診者34名

8) 2019年開催のラグビーワールドカップおよび2020年開催の ⇒明細書P69

東京オリンピック・パラリンピックに向けた歯科医療体制の整備に対する協力およびスポーツマウスガードの普及・啓発

- ・東京オリンピック・パラリンピック選手村総合診療所（ポリクリニック）への歯科医師、歯科衛生士の募集を行い、同組織委員会へ募集結果を報告し、同組織委員会より決定者及び落選者へ直接通知。ブラインドサッカー男子日本代表選手8名にスポーツマウスガード提供。1月25日（土）印象採得、2月15日（土）装着・調整

② 会誌の発行等 ⇒明細書P121

- ・「東京都歯科医師会雑誌」年11号発行。ARTICLES(学術論文欄)他掲載。
本会の会員、道府県歯科医師会、全国の歯科大学・大学歯学部、歯科関連業者、行政、報道機関等に配布
(会員無償、会員外1冊800円)。各号約9000部発行。
- ・本会ホームページ掲載情報
休日歯科応急診療所、禁煙支援プログラム実施診療所、イベント・講演会等の告知募集、警察からの身元不明遺体情報の提供依頼、他。

(2) 歯科医療従事者に対する卒後研修、学術研修、生涯セミナー

都内に勤務する歯科医療従事者に対して、次の有償無償の各種研修会、セミナー等を実施して、歯科医学・医術の進歩発達に寄与する。

① 卒後研修 ⇒明細書P93

東京歯科大学、日本歯科大学、日本大学、東京医科歯科大学、昭和大学にて、歯科医療技術の向上を目的とした20講座を開催。都内歯科医療従事者744名参加。講習料は1講座10,000円（非会員価格は50,000円）及び実習材料費（実費相当額）。以上、本事業は事業計画通り実施した。

② 学術研修 ⇒明細書P101

令和2年2月16日（日）歯科医師会館にて、メインテーマ「コンポジットレジン修復の現在」とし、田上順次東京医科歯科大学教授、大谷一紀先生（台東区会員）の2名の講師を招いて開催（参加者211名）。

③ 生涯研修セミナー ⇒明細書P100

令和元年10月27日（日）歯科医師会館にて、メインテーマ「歯科医療の原点と将来を見据えて～カリオロジーの新たなステージへ～」とし、林 美加子大阪大学大学院歯学研究科教授、高柳篤史先生（埼玉県会員）の2名の講師を招いて開催（参加数166名）

④ その他の研修会等

1) 児童虐待防止事業

⇒明細書 P81

○子どもの虐待防止研修会：令和元年 10 月 25 日（金）

講演「子どもの虐待は予防できるか～コミュニティで支える子どもと家族」

受講者数 21 名

2) 禁煙支援事業

⇒明細書 P87

○禁煙支援フォーラム 令和元年 12 月 18 日（水）

講演「「口」はタバコゼロ社会への入り口」他。受講者数 38 名

3) 産業保健事業

⇒明細書 P85

○産業保健研修会 令和元年 11 月 21 日（木）

講演「息さわやかに健康ライフ ～職場における口臭予防対策～」他。受講者数 22 名

4) 糖尿病予防事業

⇒明細書 P87

○糖尿病予防フォーラム 令和元年 9 月 6 日（金）

講演「人生 100 年時代は歯医者さんへの定期通院から～

お口を健幸の入り口にするか、穢けがれの入り口にするかは、あなた次第～」

他。受講者数 126 名

5) 在宅歯科医療(認知症・介護・フレイル予防等含む)に関する事業

○在宅歯科医療研修会

⇒明細書 P89

①令和元年 6 月 24 日（月）

講演「在宅診療のススメ～在宅診療だからできること、

在宅だからできないこと～」他。

参加者数 93 名

②令和元年 9 月 3 日（火）

講演「障害児（者）の歯科訪問診療をはじめようー

歯科訪問診療に必要な基礎知識ー」他。参加者数 43 名

○障害者の理解促進に向けた歯科医療従事者向け研修

⇒明細書 P91

令和元年 10 月 9 日（水）

講演「もしも障害のある人が来院したら」参加者数 38 名

○認知症対応力向上研修

⇒明細書 P90

①令和元年 8 月 1 日（木）講演「認知症の基礎知識」他、参加者数 120 名

②令和元年 11 月 6 日（水）講演「認知症の人の口を支える基礎知識

～認知症を歯科診療を断る理由にしないために～」

参加者数 66 名

③令和 2 年 2 月 18 日（火）講演「認知症の予防と共生」他、参加者数 97 名

○多数歯う蝕のある子供たちに対する支援のための歯科医療従事者向け研修

⇒明細書 P83

令和 2 年 2 月 12 日（水）講演「児童相談所を取り巻く状況」他、参加者数 110 名

6) 周術期口腔ケアに関する事業

⇒明細書 P83

①周術期口腔ケア導入コース研修 令和元年 6 月 3 日（月）

講演「がん治療と口腔ケアの接点～周術期口腔ケアの意義～」参加者数 37 名

①周術期口腔ケア基礎コース研修及び応用コース研修 令和元年6月30日(日)

講演「がん治療総論及び緩和ケア概論」他。参加者数51名

②周術期口腔ケア基礎コース研修及び応用コース研修 令和2年1月26日(日)

講演「がん治療総論及び緩和ケア概論」他。参加者数50名

②周術期口腔ケア導入コース研修 令和2年2月22日(土)

講演「がん治療と口腔管理の密接な関係～周術

期口腔ケアの実際と歯科医療従事者のやるべきこと～」参加者数26名

○周術期口腔ケア実地研修 令和2年2月22日(土)

講演「手間をかけずに安全に成果をあげる口腔ケア

の手法(周術期の場合)」参加者数15名

7) 口腔がん対策事業

⇒明細書P86

○口腔がんフォーラム：令和元年7月2日(火)

講演「口腔がんの治療はどうなっているの?最新の薬物療法は?」他 参加者114名

8) 歯科衛生士復職支援等事業

⇒明細書P130

①歯科衛生士離職防止講習会

・平成31年4月4日(木) 歯科医師会館 受講者89名

歯科衛生士の人材確保や離職防止の施策・手法について、雇用主である歯科医師の理解を促進するための講習会を開催。

②復職支援研修会 基礎コース(各期2日間)

・第1期 令和元年7月20日(土)：受講者39名、7月21日(日)：受講者36名

・第2期 令和元年9月28日(土)：受講者31名、9月29日(日)：受講者31名

・会場：第1～2期のいずれも、本会附属歯科衛生士専門学校

離職中の歯科衛生士を対象とし、その復職を促す目的で、東京都歯科衛生士会との共催により、実習を含む2日間の研修会を実施。希望者に対して、就職相談および歯科医院見学も併せて実施。

③復職支援研修会 応用コース

・令和元年11月18日(月) 受講者36名 会場：ジーシー・コーポレートセンター

復職に向けて、基礎コースよりも一歩進めた内容で研修会を実施。希望者に対して、就職相談および歯科医院見学も併せて実施。

④東京デンタルショー2019内セミナー「歯科衛生士の離職防止と復職支援」

・令和元年11月10日(日)

受講者30名 会場：東京ビックサイト(西1・2ホール、セミナーB会場)

(3) 各種学会等の支援、医療連携

①エイズ患者およびHIV感染者の紹介事業およびがん患者紹介事業 ⇒明細書P80

○協力歯科医療機関紹介事業(東京都委託)

・協力歯科医療機関数：101(令和2年3月現在)

紹介実績(令和元年4月1日～3月31日)：協力病院/紹介件数 124件、その他(紹介状

無) /紹介件数 24 件、協力歯科医療機関/受診件数 初診 665 件 (延べ数 1156 件) 継続 2515 件 (延べ数 4681 件)

○東京都歯科向けエイズ講習会 (東京都委託)

⇒明細書 P81

・令和元年 9 月 25 日 (水)

講演「HIV/AIDS の理解と HIV 陽性者への支援～共に生きるために～」参加者数 24 名

・令和 2 年 1 月 30 日 (木) 講演「口腔粘膜疾患を見過ごさないために知っておくべきこと！」

参加者数 48 名

②学長、学部長、病院長会議を令和 2 年 2 月 17 日 (月) に事業計画の通り実施

・本会理事の講師派遣を随時実施。

2. 事故・災害若しくは犯罪による被害者の支援と、障がい者の口腔保健の向上に寄与する事業

この事業は、事故や災害、あるいは犯罪により不幸にして被害を受けた医療弱者に対する支援と、障がい者の歯科診療を中心に口腔保健の向上に寄与することを目的とする。

(1) 事故・災害等による被害者支援、犯罪による被害者支援、災害時緊急歯科診療

事故または災害時における医療救護活動は、都民の生命と身体を守る要となる重要なものである。本会では、東京都地域防災計画の一翼を担うため、各防災機関との緊密な連携をとり、会員歯科医師を中心として各種訓練や知識習得に励むものとする。

① 事故・災害による被害者支援

1) 九都県市合同防災訓練への参加

⇒明細書 P71

・令和元年度東京都・多摩市合同総合防災訓練 令和元年 9 月 1 日 (日)

パルテノン多摩、桜美林大学多摩アカデミーヒルズにて、地区が主体となって医療救護活動訓練および検視・検案・身元確認訓練を実施。

・令和元年度地区災害警察歯科担当理事連絡協議会 令和 2 年 2 月 5 日 (水)

東京都、都歯及び日歯の災害対策関連事業の報告と、東京歯科大学法歯学・法人類講座橋本正次教授による講演を行った。

・関東地区歯科医師会大規模災害対策検討特別委員会 令和 2 年 3 月 13 日 (金) (中止)

2) 身元確認研修会

⇒明細書 P72

・第 1 回身元確認に関する歯科医師研修会 (55 地区) 令和元年 11 月 26 日 (火)

開催場所：歯科医師会館、受講者 91 名。

・第 2 回身元確認に関する歯科医師研修会 (55 地区) 令和 2 年 3 月 11 日 (中止)

3) トリアージ研修会

⇒明細書 P72

・令和元年 12 月 10 日 (火) 開催場所：歯科医師会館、受講者 80 名

4) 日本歯科医師会災害歯科コーディネーター研修会

⇒明細書 P72

・令和元年 9 月 22 (日)・23 日 (月・祝) 歯科医師会館

本会より 6 名を推薦し受講

5) 警察歯科医会全国大会への参加

・未参加 (隔年開催)

6) 公益社団法人被害者支援都民センター構成員として啓発活動

同センター理事として参加。同センターのパンフレット頒布、会館設置自動販売機売上金の一部を寄付。

7) 東京都犯罪被害者支援連絡会との連携

同連絡会会員として、被害者の支援、被害の回復・軽減、再発防止等を推進。

(2) 障がい者の口腔保健の向上（東京都立心身障害者口腔保健センターの運営）

東京都立心身障害者口腔保健センターは、地域の一般医療機関では困難な障がいのある方の口腔保健の向上を目的に指定管理事業者として全面的に運営を委託されている。事業の一層の発展に励むものとする。

① 障がい者の歯科診療

⇒明細書 P136

所内来所患者数 14,348 名、巡回・訪問診療患者数 968 名（平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月）。

② 歯科医療従事者、障がい者（児）の保護者および障がい者（児）施設職員・学校教職員等への教育研修

⇒明細書 P134

所内研修 延人数 1,492 名、地域派遣研修 延人数 1,058 名（平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月）。

③ 障がい者歯科医療ハンドブックの作成配布及び障がい者歯科医療に係る広報活動

⇒明細書 P134

○個別研修会アドバンスコース等で配布。

広報活動：センターだより第 32 号～34 号発行、連携だより第 22～23 号発行、掲示板

平成 31 年 4 月、令和元年 8 月、12 月発行。令和元年版東京都立心身障害者口腔保健センター事業概要発行。ホームページ改訂（バリアフリー対応強化及び新規掲載「保険請求に関する Q&A」）。センターリーフレット「巡回歯科診療」及びパンフレット「ごあんない(小)」改訂。

学会活動：第 1 回アジア障害者歯科学会(台湾)ポスター発表(1 題)、第 36 回日本障害者歯科学会(岐阜)ポスター発表(1 題)、第 15 回東京都福祉保健医療学会ポスター発表(2 題)

調査活動：東京都における障害者福祉サービス事業所及び利用者に対する調査「障害者歯科医療の推進に向けた調査報告書」発行

3. 歯科医療従事者を育成する事業

国家資格である歯科衛生士の養成と要介護者や通院不可能な高齢者に対する在宅歯科診療に対応できる東京都介護職員初任者研修資格の取得に努める。また、学生、卒業生を対象に無料職業紹介を実施し、歯科衛生士の離職者の増加に伴う歯科衛生士の需給問題の解消に努めるとともに、地域歯科医療を更に充実させることに励む

(1) 歯科衛生士の養成事業(歯科衛生士専門学校の運営)

⇒明細書 P127

- ・在籍学生は平成 31 年 4 月時点で、2 年生（45 回生）24 名、3 年生（44 回生）29 名である。
- ・東京都介護職員初任者研修を 2 年生(45 回生)24 名が修了した(H31. 2. 25～R1. 7. 31)。
- ・都歯雑誌付録、都歯 HP にて求人票（非常勤用を新たに作成）を随時募集。

- ・令和2年3月5日開催の第201回臨時代議員会にて、第45回生の卒業は令和3年3月の予定であるが、卒業等により在籍学生が全てなくなったことを条件として、その段階で本校をすみやかに廃校とし、その廃校に向けた関係事務処理および廃校申請手続については、執行部に一任とすることを決定。

4. 都内歯科医師の事業基盤を安定化させる事業

本会が実施する公益活動は、会員である独立事業主の歯科医師の本業とは離れた協力により実施されている。こうした民の公益活動を継続的に実施するには、歯科医師としての経営基盤や業務基盤の安定が絶対の必要条件となる。本会では歯科医師への支援事業に励むものとする。

(1) 医療保険制度の適正な運用のための事業 ⇒明細書P114

①・保険講習会 令和元年12月5日（木）歯科医師会館、出席者244名

（今年度は、口腔内装置、歯科保険請求の留意点、行政による指導の現況の3つの内容の講演を実施。）

・施設基準のための研修会

【第1回】令和元年5月16日（木）歯科医師会館、出席者112名

【第2回】令和元年10月21日（月）歯科医師会館、出席者154名

【第3回】令和元年12月11日（水）歯科医師会館、出席者146名

・院内感染防止対策研修会

【第1回】平成31年4月25日（木）歯科医師会館、出席者13名

【第2回】令和元年6月6日（木）歯科医師会館、出席者9名

【第3回】令和元年7月29日（月）歯科医師会館、出席者12名

【第4回】令和元年11月7日（木）歯科医師会館、出席者6名

・新規指定医療機関保険講習会

【第1回】令和元年8月29日（木）歯科医師会館、出席者55名（44医療機関）

【第2回】令和2年2月13日（木）歯科医師会館、出席者25名（21医療機関）

（新規に指定を受けた保険医療機関を対象に、保険請求や診療等に関する指導を自主的に行うものであり、未入会を問わず出席可能となっている。）

・保険医・医療事務担当者合同講習会

令和2年1月30日（木）歯科医師会館、（出席者118名）

（保険請求上の留意点や各種事務手続に関して、保険医及び医療事務担当者の方々を対象に未入会を問わず出席可能となっている。）

②・「診療報酬明細書記載要領」（3つ折り・2つ折り）を作成・配布予定。

（令和元年10月版の作成。）

- ・指導書作成常任委員会にて、「カルテ記載の手引き」・「令和2年度診療報酬改定資料」の作成。

③・地区保険担当理事連絡協議会（【第1回】令和元年8月8日（木）歯科医師会館

【第2回】令和2年3月16日（月））を開催。

- ・地区への文書連絡、本会ホームページを通じて周知。

(2) 個人事業主としての歯科医師の事業基盤強化

- ① 医事相談（都民に対する無料電話歯科相談）⇒明細書 P112
相談件数 399 件。
- ② 医事紛争解決のための対応(医事処理)⇒明細書 P106
新規事例 25 件。解決事例 6 件
- ③ 「地区医療管理、税務担当者連絡協議会」を令和 2 年 1 月 31 日（金）
に歯科医師会館にて実施。
- ④ 福祉総合保険⇒明細書 P120
 - ・平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月 死亡・廃疾保険 119 件（55,625,000 円）、傷病保険 1,287 件（141,105,000 円）、火災保険 1 件（1,200,000 円）、災害保険 37 件（5,650,000 円）、保険金合計 203,580,000 円。

5. その他の事業

歯科医師法第一条に掲げられた歯科医師の使命を全うするためには、個人ではなく団体としての活動が必要となる部分がある。本会は、地域の方々の健康を守るという大きな使命を担っており、その公益性を理解し、自覚を持った会員で構成されている。その観点から、本会組織の維持・運営は根幹をなすものであり、次の事業を行う。

(1) 厚生文化事業

- ① 会員に対する表彰等の授与⇒明細書 P62
東京都歯科医師会の日表彰式 実施：令和元年 10 月 3 日（木）
受賞者：会長表彰 3 名、終身会員 159 名、・100 歳会員表彰 実施：4 名
保健文化賞 2 地区（台東区歯科医師会、江戸川区歯科医師会）
- ② 会員に対する慶弔金等の支給
死亡会員への献花。
- ③ 会員に対する健康増進施策等の実施⇒明細書 P126
「健康ウォーキング」、令和元年 10 月 20 日実施 参加人数 106 名
（コース：池上駅→池上本門寺→松竹キネマ蒲田撮影所跡→蒲田駅）
- ④ 会員の厚生文化活動に対する補助金や奨励金の支給
厚生文化部 12 部への補助金の支給。

(2) 歯科医業合理化事業

- ① 各種調査の実施⇒明細書 P104
 - ・歯科医業経営総合調査、診療行為別頻度調査
- ② 税務相談、法律相談、融資斡旋等
 - ・税務・法律相談は、随時、税理士・弁護士へ取り次ぎ。
 - ・新規融資 8 件（平成 31 年 4 月～令和元年 3 月分）⇒明細書 P139

(3) 貸館施設を貸与する等の収益事業

- ①有償貸与 会議室 5団体54回(件) 合計 2,299,360 円
貸室 2団体 合計 4,704,870 円
(平成31年4月～令和2年3月分)
- ②合計 20,561,000 円 (平成31年4月～令和2年3月分)